



【発行】
2014年6月22日
旭川地方協
(宗谷・留萌・上川)
夏期交実行委員会
発行責任者
実行委員長 星野真樹

交流会で出会った仲間達と2日目もがんばろう!

仲間の声と向き合おう!

～分散会で聞かせてきた仲間の声～

1日目の分散会で多くの仲間からたくさんの方が出されましたので紹介します。

【時間外勤務】

・業務量が多く22時まで仕事をしても時間外手当がつかない。その現状をそのまま受け入れてしまっている。

【職場環境】

・経費の削減を進めている財政職場にいるためなかなか時間外申請しづらい。

・管理職は職場の状況を理解していないと思う。

・周りが定時を過ぎても仕事をしているから、自分だけ帰りづらい。

・自分の仕事のことを、自分より忙しい先輩になかなか聞けない。

・仕事のミスに対し、上司が無関心なことが不安。仕事のミスに対し必要

以上に責めてくるので精神的にかなり苦しい。

・上司とのコミュニケーションがうまく取れない。

・採用されて間もないのに即戦力として扱われるのは苦しい。

【生活・その他】

・町に0歳から預けられる保育所がなく、出産・子育てについて考えると不安。

・人事評価制度を試験的に導入しているが、どのような基準で評価されているのかよくわからないし、わからないこと自体がすごく怖く感じる。

【気づき】

・時間外は、職場の現状をわかっただけでは、職場の現状を求めていることが大切。

・仲間と話していくことで様々な視点を持つことができた。視点を変えることの大切さに気付いた。

留萌地本

【留萌市労連 森田 聡】
慣れない座長役ということで、最初の内は緊張してしまいましたが、班のメンバーがざっくばらんに話してくれたので、活発な議論を行うことができました。

分散会のなかでは、時間外や人員問題について討論し、自分の職場の環境と大きく異なる点や、共通している点をまとめていきました。様々な視点から考えることができ、話し合うことの大切さを実感することができました。



宗谷地本

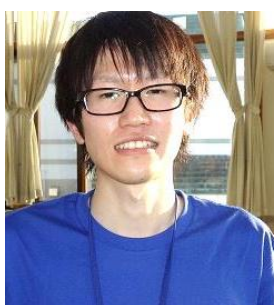


【浜頓別町職 村中 崇宏】
公演は聞ききれない用語があり難しかったが、分散会では、自分の職場の苦しさを話すことができました。また、ほかの人の話を聞いて自分だけが苦しいわけじゃないんだと感じ、気持ちを共有できたことがとてもうれしかったです。

上川地本南部

【上富良野町職 柿原 恭平】
賃金について話し合いをすると、「1人暮らし

の人は生活するには全然足りない」、「実家暮らしの人は1人暮らしができない」、「結婚を躊躇してしまおう」、といった意見がありました。また、講演を聞いて、職場で人員削減されるのは、単に人が多いからではなく、当局が実態を把握せずに計画通り進めている事が問題だということを改めて感じました。結果として、多忙になり青年部運動に参加できないので、1人で抱え込んでしまふことになりました。しかし、こんな状況である今だからこそ、みんなで話し合い、共通した認識を持つたうえで声をあげていくことが大切だと実感しました。



上川地本中部



【鷹栖町職

山岸 智也】

職場に入り4年目の薬剤師が1人で町営業局の仕事をしていたり、看護師が放射線技師の仕事をしているなど、「一人で抱える業務量が多い」「業務外のこともやっている」という話を分散会で聞くことができました。

どの単組でも個人が抱える負担が大きくなってきているというのを共感できたため非常に参考になる分散会でした。

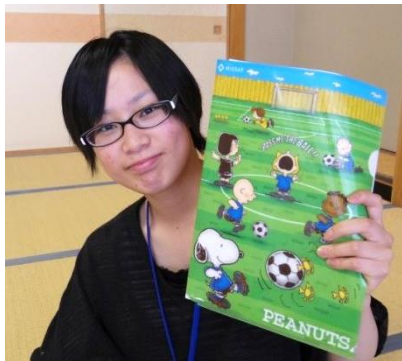
上川地本北部

【美深町職

川村 ひとみ】

分散会のなかでは、1つの業務を1人が担当しているため、「同じ係内でも業務を把握出来ない。」「担当がいないと来客時に誰も対応出来ない。」という声がありました。

また、職場の人間関係が良くないという話もありました。働きやすい職場にするためには職場の上司や仲間とコミュニケーションを取る大切だということを改めて感じました。



開催地 和寒町紹介 Vol.5 「春夏秋冬イベント情報」

今回で第5回目となりました和寒紹介！これまでの特集を読んでいた皆さんの和寒にかなり詳しくなっていると思います。

今回は『和寒町の主なイベント』についてザックリとご紹介します。

春

5月9日に『三笠山夜桜まつり』がふれあいのもり（研修館榆向かい）で開催されました。夜桜が綺麗に見える機会は滅多にないので、来年は行ってみたいかがでしょうか！



夏

7月23日に『どんとこい！わっさむ夏まつり』がふれあいのもりやで開催されます。

カブト虫王国として、カブト虫の一本釣りやカブト虫抽選会があり、夏の思い出に最適です。また、移動



動物園やもちまき、焼肉レストラン、屋台村などもあり若い人からご年配の方まで1日中楽しめます。大抽選会の特賞では『ヘラクレスがペアで当たる！』とのこと。カブト虫好きな人はこの機会に是非どうぞ！

秋

10月12日に、秋の収穫を祝うイベントとして『パンプキンフェスティバル』がふれあいのもりで開催されます。かぼちや汁や塩狩峠そばの試食、かぼちや神輿など、見る・食べるも良しのイベントとなっております。



冬

2月1日に、和寒町で最も寒い日のイベントとしてふれあいのもり（研修館榆向かい）で『極寒フェスティバル』が開催されます。雪像コンテストや各種ゲーム、越冬キャベツの販売と冬ならではのイベントです。

冬は家の中に閉じこもりがちですが、気分転換するために極寒を体感してみたいかがですか？



2号で紹介した全日本玉入れ選手権の他にもここに書ききれなかったイベントもありますが、年中通して魅力的なものが和寒にはたくさんあります。

他の市町村のイベントに積極的に参加し、お互い切磋琢磨していければいいなと思えました。